

◆クラブテーマ◆

「八重山の未来へ奉仕しよう」

会長：黒島 剛 副会長：大浜 勇人 幹事：吉田 貴紀 副幹事：松田 新一郎  
公共イメージ委員長：山下 暢 SAA・出席委員長：玉城 力  
クラブキャッチコピー：島のリズムで伝える平和と奉仕のくるくる(心)

今月のロータリーレート 1\$¥130

島素材の産物  
～島の素材を活かす知恵と技～

【紅芋】

観光のお土産として人気のタルトやパイなどに加工されている紅芋。そもそも地元では、ウムニーやウムクジ天ぷらなどとして食卓を彩ってきた食材です。最近SNSにより紫の色合いが“映え”につながることから注目を集めています。また、病害虫まん延防止のため県外への持ち出しが禁止されているため、内地では入手が難しいことも人気の一役を買っているやも。いずれにせよ視覚を刺激する色の力も島素材の魅力のひとつです。

[資料協力:フォーモスト・ブルーシール]



SERVE TO  
CHANGE LIVES

奉仕しよう みんなの人生を豊にするために

2021-22年度RIテーマ

RI会長：シェカール・メータ

地区ガバナー：若林 英博 氏

「世界で、日本で、地域で良いことをしよう」

☆大きな目標と5項目☆

- 1.新型コロナウイルスで困っている人々を支援しよう
- 2.ポリオ根絶に向けて頑張ろう
- 3.元気なクラブになろう
- 4.会員増強・クラブ拡大をする覚悟をもとう
- 5.ロータリーの公共イメージをアップさせよう

5月のプログラム

5/25(水)入会式

例会日 水曜日 12:30～13:30  
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4  
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311  
TEL/FAX(0980)83-2917  
E-mail [ishirotaary@ninus.ocn.ne.jp](mailto:ishirotaary@ninus.ocn.ne.jp)

☆総会員数: 48名 出席義務会員数: 47名  
☆出席人数: 25名 欠席人数: 22名 出席率: 57.45%  
    <<司会進行: 大本 綾子>>  
☆ロータリーソング: 手に手つないで 四つのテスト  
☆ソングリーダー: 松田 新一郎  
☆ゲスト: ファンライン エリック様  
☆ピジター: 津嘉山 伸様(那覇RC)  
☆メイクアップ: 森田 安高 新垣 精二 新川 正人

会長挨拶: 黒島 剛



先週の日曜日(5/15)は、沖縄復帰50周年ということで、テレビの特番を見て非常に勉強になりました。私は当時、小学校5年生で、復帰は分かるんですが、裏では大変な作業があったんだなとテレビの特番とおして知りました。自衛隊の船で大量のお金を沖縄に運んだということ、そしてそのお金を離島に運ぶ、特に与那国は、その時に滑走路が発達していないということで、自衛隊のヘリで運んだという話もしていました。また、沖縄県にはどれだけの円があるのか調べたり、1ドル360円の固定相場が崩れ、復帰当時のドルが305円でしたが沖縄県だけは360円で両替ができたという話を聞いて、凄かったんだなと感じました。今日は、ゲスト卓話でエリックさんにお越し頂いたのですが、私の知り合いで、NHKの海外向けの番組で、石垣島に住んでいる外国人ということで、エリックさんと知り合いました。その時にビックリしたのは、八重山の歴史もよく知っていますし、民謡も知っていて、いろんな事を知っていて本当にビックリしました。今日は楽しいお話が聞けると思います。それから那覇RCの津嘉山さん、ご来会ありがとうございます。私たちもコロナでメイクアップも2年半ぐらいストップしていましたが、先月の理事会でメイクアップを受入れましょうと致しました。早速、津嘉山さんが来て頂きました。ありがとうございます。ゆっくりして行って下さい。

◆◆◆幹事報告: 吉田 貴紀◆◆◆

中山義隆市長の4期目就任激励会のチケットが届いております。5/25の18時より、アートホテル石垣島【八重山の間】にて開催されます。会費は2千円、事務局で販売しておりますので、宜しくお願い致します。5/31の地区大会に17名のメンバーで参加致しますが、ちょうどその時に岡崎南RCの方が、池城さんのお墓参りにいらっしやるということです。3名の方がご来島されますので、どな

たかアテンドをお願いしたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。5/23(月)に竹富小中学校の図書室「指田文庫」へ図書券の寄贈をして参ります。

◆ゲスト卓話: ファンライン エリック 氏◆

テーマ: 石垣島での活動について

今日は、この場を借りてお話をさせて頂いてありがとうございます。今日は、英語でもない、島ムニでもない日本語でお話したいと思います。卓話は、英語でTable Talkと言います。ゆっくりお食事しながら飲みながら、ちょっとカジュアルな話をするということです。先ほど、黒島さんからもありましたが、仕事の関係で知り合いました。テーマに石垣島での活動としていますが、言葉をどのように活かすかということをお話したいと思います。夏川りみさんの歌で「花」の歌詞で最初のフレーズに「川はながれてどこどこいくの」ですが、自分がオランダに生まれて40年経って、この島に居るとはぜんぜん思っていなくて、どこに行くか皆さんも分からないし、川も分からないわけですが、川というのは自分にとっても大事なものだし、出身地のオランダにも大事なことです。水の多い国で、国の半分くらいが海拔以下ぐらいのところなんです。水や川とかが関係のあるところ。海拔2m下ぐらいに水が溜まって、水を川から海に運んだりしてくれる風車もオランダでは有名です。自分にとって川はなぜ大事かというと、この川はライン川ですが、スイスで始まってオーストリアの下にあってフランス、ドイツを通過して最後にオランダに流れてきます。そのライン川は、僕の名前のライン川となります。ファンライン エリックという名前ですが、ファンラインというのはライン川のエリックになります。オランダのライン川が海に入るところに、自分の先祖が何百年も前から住んでいて、こういう名前がつけられました。オランダというと風車のイメージが多いと思いますが、自然が多い環境で親の愛たっぷりに育てられました。大学では経済学を勉強していました。経済学は少しちよつと物足りないところがありましたので、もともと好きだった言語をもうちよつとやりたいなと思って、いろいろ探したんですが、うちの大学では英語やドイツ語があったんですが、ちよつと変わっている言葉は、なかなかなくて日本語しかなかったんです。そこで日本語を勉強し始めてから、凄く楽しく勉強が出来ていて留学して1年間、東京に行っていました。22歳の時に、川と同じように、人は流れてどこどこいくのという、生まれてから22年で京都に居るのはちよつと思いませんでした。1年間、東京に住んで凄く楽しかった期間でしたので、大学を卒業してからも、もう少し日本に居たい、もう少し勉強したい、それで2000年に早稲田大学の大学院生になりました。その後いろいろ悩みながら結局はドイツの会社に入社しました。4年間ぐらい企画管

理部で働いたりして、それから 2007 年に大学の友人に「うちの会社に来ないか」とアスピリンを作っている製薬会社なんです、そこでは別の仕事をしていたわけですが、サラリーマンとして外資系の日本法人で働いて、どちらかと言うと日本と本社の架け橋の役割をやっていました。サラリーマンをやっている間に沖縄の出会いもありました。実は、学生の時代に沖縄に行きたくて行きたくて、ただ当時は LCC もなかったし、手に入らない旅先だったんですね。いよいよサラリーマンになりまして、2006 年に初めて沖縄に来ました。到着した日は、あまりいい縁ではなかったです。ちょうど那覇から 30 ㎞ぐらいに台風の目がありまして、飛行機が凄く揺れたりして、大人も叫んだりして、それで那覇に到着したんですけれども、ただ次の日は台風のあとの綺麗な空で、首里城の朱と青空で凄く良い印象を受けて、そこから沖縄を好きになったんですね。当時は、宮古島にも行ったりしてそこも面白い時間を過ごして、そこから少しずついろんな島に行くようになりました。沖縄のどこが好きだったかという、沖縄の方は沖縄が好きで、自分も沖縄が好きで、それが伝わると面白い話になって、行くほど行きたくなる場所だったんですね。そんなに好きであればいつか住みたいなんて思って、2016 年に石垣島に引っ越して来ました。なぜここに来たかという、だいたい 2011 年ぐらいから、沖縄に来る時に、どんどん海外から観光客も増えているのを見ていて、例えば西表島に行くとガイドさんが案内してくれたりして、日本語で説明してくれるんですけれども、日本語がしゃべれない観光客になると全部説明しきれないんですね。そこは観光客にとってもちょっと残念だし、島としてもちゃんと伝わらないのも残念だなと思って、仕事の企画にもなるんじゃないかなと思って 2016 年に石垣島に引っ越してきました。石垣島では、どちらかというインバウンドのことを考えて、NoHoHo という名前です始めました。西表島の祖内、干立で節祭にオホホじいさんが表われるんですけれども、そのオホホじいさんは、お金は持っているんだけど言葉はしゃべれないから地元の子に偽物のお金を配るんですけれど、何も出来ずに去って行ってしまふんです。海外でも日本からの観光客でもそうですけれど、せっかくお金を使いたいの、でも言葉が通じないというのがある場合があるので、それにならないように英語の N をつけて NoHoHo にしました。NoHoHo としては、いま住んでいる久宇良というところで、一組しか泊まれない小規模の宿をやっています。他には、コンサルタントとしていくつかやっていますが、一つがインバウンドコンサルティングといって、外国人向けのビジネスをやっている方にサポートしています。例えばスタッフ向けに英語を教えたり、小さなマッサージサロンに英語でどういふふうにお

客さんに案内するかと練習したり、翻訳やパッケージの英語の翻訳を作ったりします。時々、市場調査を外国人の方を追いかけて調査する時もあります。コンテンツクリエーションというのは、内容を作るということで記事を書いたり、黒島さんと一緒にやっていた NHK の番組に出たりしています。去年から今年の 1 月の間にビーチホテルサンシャインさんで行っていたセミナーで沖縄県産業振興公社がサポートしている育成のプロジェクトで観光業と関係なくスタッフ育成するプロジェクトで、そこで欧州の観光客をターゲットにしてネットで出来るいろんなデータや調査を分析して、それをスタッフの皆さんで簡単な英語で話したり、それによって欧州の観光客を理解できるようなプロジェクトをやっていたんですね。それから、星の形をしたちんすこうがあるんですが、そのパッケージの英語の文章を書いたりしています。次に、西表島の紹介ですが、八重山ビジターズビューローが去年、西表島が世界遺産になって何かしたいということで、ただ同時にたくさん観光客が来るのもちょっと困るし、どちらかという西表島に行ったらどういふふうガイドを選ぶか、できるだけガイドを使ってくださいという記事を書きました。それは、東京や大阪でフリーで配られる外国人向けの記事だったんですね。一番大きなことが、それも八重山ビジターズビューローのお仕事だったんですけれども「八重山島ぐらしカレッジ」というプロジェクトがありまして、インスタでちょっと八重山の立派な情報が伝わるプロジェクトで、そこは私が島言葉担当になりまして、担当と言っても 1 分ぐらいのなかで私が生徒で島言葉を習うということを作りました。それは島言葉との初めての出会いになりまして、面白いなと思いました。自分がペラペラと島ムニをしゃべる自身はないんですけれども、ただもうちょっと理解もしたいし、島ムニと文化の関わりは凄く面白いなと思って、島言葉を勉強することにしました。そのなかで去年やっていた、沖縄島言葉普及センターがやっていた教師育成講座に参加しました。ほとんどの参加者は年上の方が多かったんですけれども、もちろん文法とか八重山の独特な島ムニとかの発音を練習していて、とても面白い講座でした。その講座のなかで「ミジヌ カワレー クトウバン カワイン」という言葉もありました。琉球の島々はほとんど変わらないですけれども「水が変われば言葉も変わる」というフレーズが八重山でも喜界島でも言われているんですね。水が変われば言葉も変わるというフレーズでシンプルに考えると水をたくさん飲むと島ムニも上手になるかどうかはちょっと違うんですけれども、もっと深い意味があるかなと思っています。水というのは人間も動物も植物も大切なもので、いわゆる環境ではないかなと僕は感じているんですね。環境が変われば言葉も変わる。例えば石垣、




八重山だと環境からきている言葉の一つとして、ぶがりの一しがあるんですね。それはやっぱり石垣で八重山でミンサー織りをやっていることからそういう言葉になりました、一つの例になっていると思います。ただ同時に、環境があつてぶがりの一しという言葉があるし、逆に言葉があるから文化がある。ぶがりの一しがあるから石垣島らしい飲み会が出来るとか、逆でも言えると思うし、言葉が変われば環境が変わるというフレーズになります。そこが深いなと思います。皆さんは、石垣生まれの石垣育ちの方が多くと思いますが、僕はまだ6年目で日本に来て15年目ぐらいなんですけど、まだ皆さんに比べてペーペーなんですけど、この短い間のなかでも石垣島を見てどんどん変わって来ているなと思います。変化というのは、良いこともあるし、悪いこともあるし、それは何とも言えないですが、言葉とかがより活躍すれば、らしさが作れるんじゃないかなと思って、そこで僕はいま島ムニに興味があるということなんです。これから石垣島も更に変わると思うんです

けれども、それは良い話もあるだろうし、そうでもない話もあるだろうし、ここで開発がいいのか悪いのか、リゾート地を増やすのか減らすのか、基地の話もそうなんですけど、そういう話をしたいわけではないですけども、開発のなかにより言葉の関わりがあるとしたら、結果として開発は石垣島らしい開発に持っていくのかなと思っています。少し有名な話ですが、例えばハワイとかニュージーランドとかを見れば、そういう例もあつたりするので、出来ないわけではないと思います。言葉というのは、もちろん相手の話していることが分かるというはあるし、自分が何を伝えたいかというのは大事でもあるし、今のようなアイデンティティに繋がるところもあるんですね。これから、職業もより英語が活躍していたり、日本語も活躍していたり、島ムニもこれから更に活躍したいなと思っています。これからも活動を通じて「花として、さかせてあげたい」などと思います。しかいとう にいふあいゆー。



～ 例 会 風 景 ～



 エリック様 ご来会ありがとうございました。

**本日のニコニコ:** ☆黒島剛氏: エリックさん、今日は卓話ありがとうございました。☆大浜勇人氏: ファンライン エリック様 卓話ありがとうございました。☆今西敦之氏: エリック様 本日の卓話よろしくお願ひ致します。☆松田新一郎氏: エリック様 本日は、ありがとうございました。THANKS APPRECIATE!! ☆津嘉山伸氏: 本日は参加させていただきありがとうございます。

◆BOX ¥6,000 (累計 ¥313,750) ◆コイン ¥4,194 (累計 ¥68,645) 合計 ¥382,395



仁開一夫氏 3日(火) 宮城隆氏 6日(金) 漢那憲隆氏 14日(土) 大浜勇人氏 15日(日)

